

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University



立命館アジア太平洋大学
留学ガイド

2019 - 2020

SPREAD YOUR WINGS

Off-campus Study Program

“Put your knowledge into practice”

— 知識を実践に —

APUは「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、世界No.1のグローバルコミュニティ・Global Learning Universityの形成を目標に、国際学生出身国・地域100カ国を目指すなど類い稀な多文化環境を有するキャンパス創造を行っています。

その中で、Off-campus Study Programでは学内での様々な学修に留まらず、「異文化間コミュニケーション」「言語修得」「専門分野学修」「キャリア観の形成」というキーワードを軸にプログラムを展開します。APUという圧倒的な多文化環境での学修を通して培われる経験に満足せず、世界を舞台にした学びと実践の機会をOff-campus Study Programは提供しています。さらに、そこで得た学びをキャンパス内に持ち帰ることで様々な価値観にもまれながら学びを深める環境が準備されています。APUのOff-campus Study Programは、4年間の学修の中で、一人ひとりの興味に応じたプログラムを提供し、大学の基本理念を体現し創造していく人材を育成するための役割を果たします。

FIRST

異国で非言語コミュニケーションスキル獲得に挑む

SECOND

海外での協働学修を体験

THIRD

テーマに基づいた知識とスキルを学ぶ

ACCESS

入学前に短期留学

異文化

こんにちは

SEND

日本語教育支援や日本文化紹介によって海外の教育現場を体験

サービスラーニング・プログラム

言語学修と海外インターンシップでキャリア観形成に橋渡し

日本語パートナーズ

海外で日本語と日本文化を発信する

キャリア

言語

グローバル・コミュニケーション・プログラム (GCP)

本格的なアメリカの教養教育を受ける

言語イマージョン・プログラム

海外で集中的な言語研修&異文化への適応力を養う

EXCEED

夏休みに短期留学&必修英語を早期修了

専門

APUグローバルリサーチ・プログラム

世界で今、何が起きているのか自分で調査・研究する

ダブルディグリー・プログラム

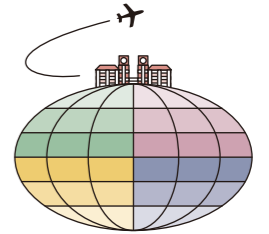
4年間で2つの学位を取得

フィールド・スタディ/プロジェクト研究

専門知識を実践に活かす

交換留学 (海外/国内)

世界の協定校へ長期留学



Message

既成概念や価値観を一度壊して、成長する。

キャンパス外での経験が自分の殻を破るチャンス

APUはキャンパス自体が国際的なので、わざわざ留学しなくても十分異文化体験ができるのではないかと皆さんは思われるかもしれませんが、私たちはキャンパスの外でもいろいろな経験を積める機会を提供すべきだと考えています。

現実の社会を知る

APUには世界中から学生が集まっていて、様々な文化や考え方があるということを知ることができます。しかし、そこに留まるのではなく、さらに外に出ることで、自分の既成概念や価値観を一度壊して一回り大きくなって欲しい。それが私たちの願いです。APUのキャンパスの中では多様性や異文化を尊重する理想的な環境が作られています。しかし、現実の社会はそうではありません。

どのような環境に置かれても生き抜く力

なぜ文化や宗教の違いで軋轢が生まれるのか、なぜ相互理解が進まないのか、現実の世界で身をもって体験して大学に戻って来ることで、現実をどう変えていけば良いかについてより深い議論ができるようになります。学外と学内を行き来することによって、どのような環境に置かれても生き抜く力、力強く周囲を巻き込み、引っ張り、世界を変える力を身に付けて欲しいのです。いろんな意味で強靱な人になって欲しいのです。体力だけではなく、忍耐力を備え、目の前の問題を分析し、解決策を提案して、実行に移す能力をOff-campus Study Programを通して養ってください。

Off-campus Study Program 一覧

カテゴリ	参照ページ	プログラム名	派遣先国・地域	申請可能時期 <small>申請資格の詳細は募集要項で確認してください。</small>										
				入学前	1 semester	2 semester	3 semester	4 semester	5 semester	6 semester	7 semester	8 semester		
異文化	P4	ACCESSプログラム (St. Edward's University)	アメリカ	↔										
	P5	FIRSTプログラム (海外)	韓国、台湾等		↔									
	P5	FIRSTプログラム (国内)	九州		↔									
	P6	SECONDプログラム	シンガポール、マレーシア、 タイ、ラオス		↔									
	P6	THIRDプログラム	タイ			↔								
	言語	P7	言語イマージョン・プログラム (中国語)	中国		↔								
P7		言語イマージョン・プログラム (韓国語)	韓国		↔									
P7		言語イマージョン・プログラム (スペイン語)	メキシコ		↔									
P7		言語イマージョン・プログラム (タイ語)	タイ		↔									
P7		言語イマージョン・プログラム (ベトナム語)	ベトナム		↔									
P7		言語イマージョン・プログラム (マレー語・インドネシア語)	インドネシア		↔									
P8		EXCEED	シンガポール		↔									
P8		グローバル・コミュニケーション・プログラム (GCP)	アメリカ			↔								
キャリア		P9	サービスマーケティング・プログラム	アメリカ		↔								
		P10	SENDプログラム	タイ、ベトナム			↔							
	P10	日本語パートナーズ	インドネシア等		↔									
専門	P11	フィールド・スタディ (セメスター型)	日本		↔									
	P11	フィールド・スタディ (短期集中型) / プロジェクト研究	インド、タイ、ロシア、インドネシア、 スイス、フランス、日本等		↔									
	P12	APUグローバルリサーチ・プログラム	スウェーデン、ベトナム、 韓国、中国		↔									
	P13	ダブルディグリー・プログラム (St. Edward's University)	アメリカ		↔									
	P13	ダブルディグリー・プログラム (Salzburg University of Applied Sciences)	オーストリア		↔									
	P13	ダブルディグリー・プログラム (Kyung Hee University)	韓国		↔									
	P14	交換留学 (国内)	立命館大学			↔								
	P15-26	交換留学 (海外)	世界 49 カ国・地域の 148 大学			↔								

入学前短期留学で小さな地球・APUでの学修に備える

ACCESS

ACCESSとは、入学が確定した参加者が、入学直前の3月に米国テキサス州オースティンにある協定大学 St. Edward's University (SEU) へ2週間短期留学をする入学前留学プログラムです。

ACCESSでは、大学生活に必要な英語基礎力を向上させるためにネイティブの講師による英語講座を受講します。プログラム修了時には、英語でのプレゼンテーションを行い、2週間の成果の確認を行います。英語講座の他に、APUの教員による「APU 120%活用講座」を受講し、4年間の目標設定を入学に行うだけでなく、大学生として充実した生活を送るために必要なスキルや姿勢を確認します。プログラム期間中は、SEU生がパディとして生活や言語のサポートをしてくれるため、生きた英語、そしてアメリカの大学生の生活や学修環境を直接感じ取ることができます。

実習時期	入学前の3月(約2週間)
滞在形態	学生寮
研修言語	日本語および英語
派遣国・地域	アメリカ(テキサス州 オースティン)
募集時期	11月中旬~1月上旬
募集人数	38名
申請資格	入学前の1月までに入学が確定した日本語基準国内学生で、 英検準2級~2級に相当する英語力を持つ者 ※参加対象となる入試方式に制限があります。
単位数	正課外のプログラムのため、単位の付与はありません。
費用	約35万円



大林 凌也 (国際経営学部)

将来世界で活躍する人材になるために、自分には何ができて、何ができないのかを知り、4年間を有効活用するためにACCESSへの参加を決意しました。ACCESSでは「もっと英語が話せたらアメリカ人の友達とより仲良くなれたのに、という悔しさ」と「共に夢を追いかけ、互いの夢を応援し合える仲間」を得ることができました。夢を追いかける中で挫けそうな時、あの時の悔しさがバネとなり、ACCESSで得た大切な仲間が今でも私の挑戦を応援してくれます。



St. Edward's University
(アメリカ合衆国 テキサス州 オースティン)

St. Edward's University (SEU) は、1885年に設立された歴史あるカトリック大学で、APUが厚いパートナーシップを構築している協定校のひとつです。特にリベラルアーツと呼ばれる教養教育・生涯教育の分野で高い評価を受けています。APUとSEUは協力協定を結んでおり、毎年、ACCESSや2カ月間の留学プログラム(GCP)、半年もしくは1年間の交換留学プログラムを通じて双方の学生たちが活発に交流をしています。



音楽の街として知られる
学園都市オースティン

SEUの所在するテキサス州オースティンは「U.S. News & World Report」の「Best Places to Live in the USA」(アメリカの住みたい街ランキング)で1位になった街です。音楽の街として知られており、ACCESSが実施される毎年3月には、世界中のアーティストが集まる音楽の祭典「SXSW(サウス・バイ・サウスウエスト)」が開催され、街には音楽が溢れています。きれいな町並みだけでなく、近郊には多くの自然があり、過ごしやすい気候のため、テキサス州で最も有名な観光地となっています。

FIRST

Freshman Intercultural Relations Study Trip

FIRSTプログラムは、APUで最大の参加者数を誇る1回生向けのOff-campus Study Programです。何と言っても最大の特徴はその冒険性。目的地は現地到着後くじ引きで決定され、観光では訪れないような小都市が指定されることも。言葉の通じない土地で自分たちの力だけで目的地を目指すと共に、現地では200名を超える市民を対象にアンケート調査を行います。同じ言語基準の学生たちが少数のグループに分かれ、コミュニケーション能力と異文化理解を深めると共に、APUの国際色豊かなキャンパスライフを最大限に活用する力の獲得を目指します。

	国内学生(春実施)	国際学生(秋実施)
実習時期	6月(4~5日間)	11月(4~5日間)
滞在形態	参加者自身で現地手配	参加者自身で現地手配
研修言語	日本語	英語
派遣国・地域	韓国、台湾等	九州
募集時期	4月	9月
募集人数	300名	48名
申請資格	1・2セメスター生の国内学生 および日本語基準国際学生	1・2セメスター生の 英語基準学生
単位数	2単位	2単位
費用	約7万円	約4万円



谷垣内 鮎乃 (アジア太平洋学部)

私は予想もつかない様々な困難に仲間と共に立ち向かいチャレンジすることで、積極性を身に付けることができました。FIRSTから得た経験や学びはその後の大学生活に必要なスキルであり、4年間どのように過ごしていくのかを考えることのできる良い契機となりました。単なる旅行では味わうことのできない、FIRSTならではの経験を是非身をもって体験してみてください。



FIRSTに参加した先輩の声

とても充実した4日間を過ごした。言語の壁がとて大きい状況で、皆がその場で冷静に考え協力し合えたことに成長を感じた。

アンケート調査を200人にするなんて人生で一度だけです!

参加しないとわからないたくさんのことを学べる!

固定概念をなくし、グローバルな視点を持つことができた。

参加して本当に良かった! FIRSTは私の大学生活の第一歩です。

最高の仲間に出会えた。

Q1 FIRSTプログラムを後輩にすすめたいと思いますか?

YES 87%

Q2 FIRSTプログラムに参加して自分が成長したと感じましたか?

YES 95%

SECOND

Self Confirmation and Development program

言語や宗教のみならず、多様で豊かな文化を擁する東南アジア。SECONDプログラムでは、1~3セメスター生を対象に東南アジア4カ国を縦断しながらアンケート調査を実施、その文化的多様性の理解を目指します。調査活動は事前準備から一貫して国内/国際学生混在の少人数グループで実施され、日英両言語の使用が求められます。互いに反対言語が不自由な低回生だからこそ、間違いを恐れず思い切って反対言語での学修に挑戦できることも大きな特徴です。調査研究の基礎を学び、高いレベルでの多文化協働学修に取り組みたい皆さんは是非参加してください。

実習時期	〈夏実施〉8~9月(約2週間) / 〈冬実施〉2~3月(約2週間)
滞在形態	参加者自身で現地手配
研修言語	日本語および英語
派遣国・地域	シンガポール、マレーシア、タイ、ラオス
募集時期	〈夏実施〉4月 / 〈冬実施〉9月
募集人数	〈夏実施〉70名 / 〈冬実施〉70名
申請資格	1~3セメスター生(国内学生・国際学生)
単位数	2単位
費用	約15万円



秋山 翔 (国際経営学部)

一番の魅力は、状況に応じた協働作業の大変さと面白さを味わうことができることです。渡航中衝撃的だったのは、東南アジアの人々から見た日本の印象です。今でも現地では戦争の痕跡となる物品と共に歴史が受け継がれているという事実と国民は比較的親日傾向にあるという実態が直接感じ取れ、日本における戦争の記憶の風化を自覚したことが後のフィールドスタディの参加意欲へと繋がり、私にとってSECONDは唯一無二の経験となりました。



テーマに基づいた知識とスキルを学ぶグローバルスキル探求プログラム

THIRD

THeme-based Intercultural Relation expeDition program

「タイNo.1大学での授業」、「インターンシップや現地調査等の実践活動」、「言語学修(英語+タイ語)」がセットになったグローバル人材として必要不可欠なスキルの修得を目指す約2カ月間のプログラム。「ビジネス」や「農業コミュニティー」「貧困対策」等の予め設定されたテーマに沿った授業や実践活動が準備されています。学んだ知識をすぐに実践の場で応用できるのがこのプログラムの醍醐味。時には知識と現実とのギャップに気づくこともあるかもしれません。なぜそのギャップが生まれたのか、ギャップを埋めるためにはどうすればいいのか、その答えをタイで探求してみませんか。

実習時期	〈春実施〉6~7月(約2カ月間)、〈秋実施〉10~11月(約2カ月間)
滞在形態	学生寮等
研修言語	日本語および英語
派遣国・地域	タイ
募集時期	〈春実施〉1月、〈秋実施〉5月
募集人数	各回約25名
申請資格	申請時に2~5セメスター生である者 日本語基準:英語中級A・B修得済み 英語基準:日本語上級修得済み以上を推奨
単位数	6~8単位(テーマによって異なる)
費用	約35万円(テーマによって異なる)



近藤 祐一 教授
アジア太平洋学部 プログラム担当

FIRSTやSECONDで培われた異文化学習を基本とし、THIRDでは更に一段高いレベルへの到達を目指します。Expedition(探検・遠征)に挑戦する高い意欲と熱意がある学生の参加を待っています。このプログラムへの参加を通して、世界への扉を開け続けられる知識・スキル・態度を修得し、交換留学や長期インターンシップ等、より高い目標へチャレンジしましょう。



外国語漬けの生活で語学力を磨き、異文化に適応する力も養う

言語イマージョン・プログラム

言語イマージョン・プログラムは、海外の大学や大学附属の語学学校などで、夏期・冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指すプログラムです。24時間外国語漬けの生活の中で、より実践的な語学力を磨くと共に、現地の人々との交流や様々なアクティビティを通して、現地文化・風習を学び、異文化に適応する力も養います。また現地実習で最大限の成果を獲得できるよう出発前に事前授業を行い、帰国後は事後授業で実習の振り返りを行い、その後のAPUにおける学びへと繋げます。



現地文化体験の様子

実習時期	〈夏実施〉8～9月(3～5週間)、〈冬実施〉2～3月(約5週間)
滞在形態	学生寮またはホテル等の宿泊施設
対象言語	中国語、韓国語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語
派遣国・地域	中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、メキシコ
募集時期	〈夏実施〉4月、〈冬実施〉10月
募集人数	各回約25名
申請資格	1～7セメスター生のうち、研修言語のIレベルを修了した者、あるいは同等レベルの言語運用能力を有すると認められた者(一部初学者を認める場合やIIレベルを求める場合がある)
単位数	2単位もしくは4単位
費用	15～40万円



落合 愛美 (国際経営学部)

語学学修だけでなく地元住民との交流の機会も多く、この1カ月はまさにベトナム一色でした。屋台やストリートで食事したり、ベトナム戦争の証跡を学んだり、市場で自分のベトナム語を試すこともできました。開発途上国のベトナムと日本には異なる部分が多いのですが、このプログラムを通して、自分はベトナムの文化が大好きだということを改めて強く思いました。将来は二国間を繋げられる人材になれたらいいなと思っています。



田原 洋樹 教授
言語教育センター副センター長 アジア太平洋言語主任

「APUに入ったからアジア太平洋の言語を勉強してみたい」というのは素晴らしいことです。何語を勉強するかを自分で決定でき、何語を選んでもキャンパス内にはその言語を母語とする国際学生がたくさんいるので日常的に交流できる。こうしたオンキャンパスでの言語学修に加え、現地で生活しながらより深く、より集中的に学ぶのが言語イマージョン・プログラム。少人数クラスで徹底的に学び、その言語を使って生活し、様々な文化を体験する、そして慣れない異国生活で辛く苦しい思いもして、それを克服する経験を積みます。どの言語の、どのプログラムに参加しても「ただの観光旅行」以上の気づきと学びがあります。さあ、言語の世界に飛び込んでみませんか。



JUNG Jong Hee 講師
言語教育センター 韓国語主任

韓国語イマージョン・プログラムは、2019年に創立114年を迎えQS世界大学ランキング2018年版で韓国第1位の私立大学に選ばれた高麗大学で実施します。広大で美しいキャンパスには充実した学修施設はもちろん、生活に便利な様々な設備が整っています。世界各地から集まった約3万5千人の学生たちが学び合う国際色豊かなキャンパスです。このプログラムのラーニング・ゴールは「語学を通じてグローバル・コンピテンシー (Global Competency) を身に付けること」。「聞く・話す・読む・書く」語学力を高め、異文化を理解するための基礎力をしっかりと固めます。楽しいアクティビティも盛りだくさん!釜山市での実施も計画しています。乞うご期待!



PHORN RAT Tiranant 講師
言語教育センター タイ語プログラムコーディネーター

美味しい料理やショッピング、古代寺院などの文化体験から長期就労に至るまで、様々な人を魅了しているタイ。タイ語イマージョン・プログラムでは、教員向けの研修や外国語としてのタイ語教育・研究でタイ国内でもよく知られる名門シーナカリンウィロート大学で実施され、教室の内外で集中的にタイ語やタイ文化を学びます。皆さんは経験豊富な講師陣とバディと呼ばれる言語パートナーの学生と共に、5週間のプログラムで言語能力の向上とタイ文化の知識を深めます。タイに興味がある、もしくは将来タイで何かを実現したいと考えている学生は、このプログラムで「タイらしさ」の理解を深め、自身の目標へより一歩近づきましょう。

必修英語科目を最短半年で修了&夏休みに海外短期留学

EXCEED

英語集中学修と短期留学を組み合わせ、通常1年半から2年かかる必修英語コースを最短半年間で修了することができる、2019年度からスタートする新入生限定の新規プログラムです。通常の授業期間に実施される英語講座でしっかりと力を付けた上で、夏休みに4週間、多文化共生社会であるシンガポールのSingapore Institute of Management (SIM)へ短期留学を行います。英語力の向上はもちろん、追加単位の修得や、現地の学生・APU卒業生との交流や企業訪問など、1回生から様々な体験や出会いをしたい人へ、お薦めのプログラムです。EXCEED TO SUCCEED!!

実習時期	8～9月(約4週間)
滞在形態	学生寮
研修言語	英語
派遣国・地域	シンガポール
募集時期	4月
募集人数	約25名
申請資格	必修英語を「英語準中級」から履修開始する春入学日本語基準1セメスター生
単位数	8単位
費用	約30万円



シンガポールの夜景



JAMES Blackwell 准教授
言語教育センター副センター長 英語主任

このプログラムでは、通常の英語授業・特別講義・海外集中英語コースを組み合わせ、英語のコミュニケーション力やアカデミックな英語力、また英語を用いて異文化の中で生きる力を修得できます。シンガポールでは、現地の文化や国際的な環境での人々の暮らしを知り、またAPU卒業生とも交流ができるので、グローバルな視野で自分の将来を描けるようになります。

米国大学教養教育科目を履修し、世界に通用する課題解決能力を高める

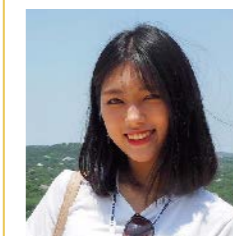
グローバル・コミュニケーション・プログラム (GCP)

春セメスターの2カ月間、アメリカのSt. Edward's University (SEU)へ留学し、全米でも定評のあるリベラルアーツ(教養教育)科目を履修します。一般的に日本人が苦手とする、スピーチ、論理的な考え方をアメリカならではの手法で徹底的に学びます。アメリカの多文化社会の歴史や仕組みについて知識を身に付け、社会的背景を理解した上で現地でのボランティアにも参加します。アメリカの授業では、積極的な発言が求められるため、英語力のみならず、積極性や学修から得られる自信を高め、多角的な視野を養うことで、大きく成長できるプログラムです。留学の前後にも授業を設け一人ひとりの目標や進路に合わせた個別アドバイジングにも注力しています。

実習時期	6～7月(約2カ月間)
滞在形態	学生寮
研修言語	英語
派遣国・地域	アメリカ(テキサス州 オースティン)
募集時期	12～1月
募集人数	約20名
申請資格	申請時に2～5セメスター生である日本語基準学生
単位数	10単位
費用	約50万円(渡航費別)



現地での集合写真



中村 寧々 (国際経営学部)

私がこのプログラムに参加して得たものは、自分の英語力に対する自信です。始めの頃は、先生が話していることも聞き取れず自分の英語力の低さに愕然としました。しかし他の参加者と夜遅くまで勉強して徐々に英語が上達していきました。特にパブリックスピーキングの最終プレゼンでは、一つのキーワードで10分近く話すことができるまでに上達しました。このプログラムで得た数々のことを活かして私の夢を実現させていきたいです。

企業やNGOの現場で実習し、キャリア選択の視点を養う

サービスマーケティング・プログラム

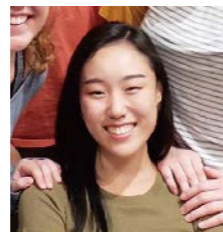
サービスマーケティング・プログラムは、英語を使って自分の進路を考えるキャリア観を形成するプログラムです。APUで行う事前授業、派遣先大学での集中英語学修とインターンシップ、そして帰国後にAPUで行う事後授業から構成されています。インターンシップでは、派遣先大学周辺の一般企業、NGO等で社会貢献活動等に取り組みます。

派遣先大学は、教授陣にノーベル賞受賞者などが名を連ねる名門校、テキサス大学オースティン校。参加者はそこに通う学生達と肩を並べてテキサス大学の正規科目を聴講し、実践的な英語運用能力を定着させ、異文化理解能力を高めます。これらを通して自らの学修・獲得目標について深く考え、働くことを意識して、キャリア観の形成、進路選択に向けた視点を養います。



インターンシップ活動風景

実習時期	8月下旬～11月下旬(約3カ月間)
滞在形態	学生アパート
研修言語	事前/事後授業:日本語および英語、現地実習:英語
派遣国・地域	アメリカ(テキサス州 オースティン)
募集時期	12～1月
募集人数	約20名(予定)
申請資格	申請 semester 終了時に英語中級単位修得済み、日本語準学生(優先)、申請時1～6 semester 生
単位数	8単位
費用	約95万円(渡航費別)



佐藤 真由 (アジア太平洋学部)

私は難民支援のNPO団体でイベント運営等の業務を行なうインターンシップに携わりました。ボランティアや招待客の方々と関わる機会に恵まれ、情報伝達をしっかり行なうこと、どのような仕事も確にこなすことの大切さを学びました。一所懸命取り組むことで、徐々に重要な仕事も任せられるようになり、貴重な体験をさせていただきました。今後は、他社でもインターンシップに挑戦し、自分の進路について更に深く考えていきたいと思っています。

卒業生インタビュー



先を見据えた挑戦を

高橋 良子 2016年度卒

2015年度 サービスマーケティング・プログラム参加
就職先: アロージャパン 株式会社

Q. プログラムに参加した目的は何ですか?

私は大学在学中、サービスマーケティング・プログラムという、アメリカで英語を勉強しながら、地元企業でインターンシップもできるプログラムに参加しました。将来的に英語を扱う仕事に就きたかったので、アカデミックな英語だけでなく、実用的なビジネス英語を学んだり、海外で働く体験をするために参加しました。

Q. プログラム参加中はどのようなことをしましたか?

インターンシップ先は、起業家育成ワークショップを運営するNPOでした。施設に併設された店でフェアトレード商品の販売業務を行ったり、品出し、仕入れ、ブログ更新、メールマガジン作成など、多岐に渡る業務を体験しました。業務に携わらる中で最も大切にしていたのは、何事にも挑戦する気持ちでした。どんなことでも、「まずはやってみる」ということを通じ、自分の限界を突破していく経験ができました。

Q. 今はどのようなお仕事をされていますか?

携帯電話販売を主に行う企業に就職し、将来は海外事業部で活躍で

きるよう頑張っています。配属先の店舗には外国人のお客様も多かったため、インターンシップで培った英語での接客スキルを活かし、日本にきたばかりの留学生や外国人ビジネスマンへのカスタマーサポート(契約のサポートや契約後のアフターフォローなど)を行なっています。

Q. プログラムを経験して得たことは何ですか?

社会人となった現在は、学生時代には想像し得なかったイレギュラーなことが起きるのが当たり前の毎日を過ごしていますが、留学中の「どんなことでもまずはやってみる」精神や経験で得た学びが、今の自分の「糧」となっていると実感しています。自分の壁を越えるのは容易ではありませんが、一歩踏み出すことで想像以上に沢山のものを得ることができます。「今」だけでなく、「その先」を見据え、自分自身に挑戦し続けることが大切だと思います。



インターンシップ中の様子

日本人学生が派遣国の教育や異文化・国際理解の促進に寄与するインターンシップ

SEND Student Exchange Nippon Discovery

SENDは、日本人学生が海外の教育機関において、日本語教育支援や日本文化紹介等を行い、派遣国・地域の異文化・国際理解の促進に寄与することを目的とした教育インターンシップです。派遣学生は、草の根レベルでの交流を通じて、現地の言葉や文化に対する理解を深め、将来は日本と派遣国との架け橋となるような人材育成を目指すプログラムです。

また、異なった文化背景の中で与えられたミッションを達成していくことにより、日本にいてだけでは気づくことができない自分の「強み」と「課題」について考察し、キャリア観の形成・進路選択への一助とすることを目的としています。

実習時期	〈夏実施〉8～9月(3～4週間)、〈冬実施〉2～3月(3～4週間)
滞在形態	ホームステイまたは学生寮
研修言語	事前/事後授業:日本語、現地実習:日本語および英語
派遣国・地域	タイ、ベトナム
募集時期	〈夏実施〉4月、〈冬実施〉10月
募集人数	各回約15名
申請資格	2～7 semester 生
単位数	4単位
費用	10～15万円



日本語を教えた生徒との記念撮影



川田 沙耶 (アジア太平洋学部)

参加前は、準備されたものから学ぶことが当然だと思っていました。しかしSENDを知った時に、何の準備もされていない学修環境に飛び込みたいと思い、参加を決めました。現地では日本語の授業を行うための準備だけでなく、日本の常識と異なる慣れない場所です。出会った人との関係など、すべてがゼロからでした。しかし、積極的に周囲と話し合い、信頼関係を構築する中で確実に自分が成長していることを感じる事ができました。

日本語と日本文化を東南アジアで発信するアンバサダーとしての活動を行う

日本語パートナーズ

幅広い世代の人材をASEAN諸国の、主として中等教育機関に派遣し、現地日本語教師と学習者の日本語学習の「パートナー」として、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をすると共に、教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、ASEAN諸国の日本語教育を支援します。

同時に、8カ月におよぶ実習を通して現地のコミュニティと深く接する中で自身も現地の言語や文化についての学びを深め、ASEAN諸国と日本の架け橋となることを目標とします。

(一部「日本語パートナーズ」より抜粋: <http://jfac.jp/partners/overview/>)

実習時期	8～3月(約8カ月間)
滞在形態	アパートまたはホテル
研修言語	日本語
派遣国・地域	インドネシア等
募集時期	6～7月(派遣期間の前年度)
募集人数	約10名
申請資格	・申請時に1～4 semester 生である者 ・日本国籍所持者のうち国際交流基金が示す期日において20歳以上である者
単位数	16単位
費用	なし(国際交流基金からの渡航費や生活費などの補助あり)



赴任先の生徒との記念撮影



金築 歩美 (アジア太平洋学部)

私は、日本語パートナーズとしてインドネシアのマランで活動していました。このプログラムの最大の魅力は、生の「インドネシアでの生活」や「教育現場」を体験できることだと思います。そして、私自身も現地の学生や地域の方々との交流、日本語の授業や文化紹介を行う中で、日本とインドネシアの文化や価値観の違いを理解し、それぞれの良さに気づくことができ、自分の視野を広げることができるようになりました。

APU教員の指導のもと国内外の現場で調査・研究活動を行う

フィールド・スタディ／プロジェクト研究

フィールド・スタディとプロジェクト研究は、教員の指導のもと、各学部の専門分野に関する現場で調査・研究活動を行い、自らの興味・関心を深め、専門的な理論と実践の架け橋となるプログラムです。アジア太平洋学部では、1回生は「環境・開発」「国際関係」「観光学」「文化・社会・メディア」の4分野を包括するプログラムに、2回生以降は各分野に特化したプログラムに参加し、専門分野学修の強い動機付けを行います。国際経営学部では多国籍企業が成立した背景を企業視察を通して学ぶプログラムや、社会変革を実践している社会起業家をテーマとしたプログラムを展開。これらのプログラムでは、現場に行く「経験」だけでなく、事前・事後授業を通じてテーマに関する知識を深め、APUでの学修に役立つ知識やスキルを深めることができます。

実習時期	〈セメスター型〉数日～30日間、〈短期集中型〉1～3週間
滞在形態	ホテルまたはホームステイ等
研修言語	日本語または英語
派遣国・地域	インド、タイ、ロシア、インドネシア、スイス、フランス、日本等
募集時期	〈セメスター型〉6～7月/12月、〈短期集中型〉4月/10月
募集人数	各回15～30名(プログラムによって異なる)
申請資格	プログラムによって異なる。日本語基準国内学生が英語開講のプログラムに参加する場合は、英語中級履修済み〈セメスター型〉3～8セメスター生〈短期集中型〉3～7セメスター生(一部、2セメスター生から可)
単位数	2単位もしくは4単位
費用	1～42万円(プログラムによって異なる)



UNWTO (世界観光機関) 本部での集合写真 (スペイン)



桜比良 (アジア太平洋学部)

私はスペインやイタリアの景観における遺産のあり方について知識を深めるためにこのプログラムに参加しました。各地の史跡を視察し教員からの指導を受けるのみでなく、UNWTOなどの組織を訪問することができ、様々な文化背景を持つ学生同士で協力し合いながらフィールドワークや調査に励むことの大切さも実感することができました。研究を通して得た結果を卒業論文に活用し、将来、チームで働く上でこの経験を活かしたいと思います。

世界で今、何が起きているのかを問い、自分で調査し、調査・研究能力を養う

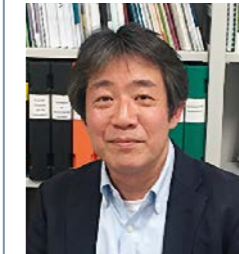
APUグローバルリサーチ・プログラム

「高福祉国家といわれるスウェーデンってホントはどんな国?」
 「韓国と日本って似ているけど違うのはなぜ?」
 「中国が発展してるって聞くけどほんとのところは?」
 「ベトナムに行って楽しかったけど、結局どんな国がよくわからない」
 APUグローバルリサーチ・プログラムでは、アジア太平洋学部の各学修分野のうち参加者が関心を有する研究テーマについての調査研究法を修得すると共に、実際に現地へ赴き、計画に基づいた調査を実施し、その結果を報告書にまとめるまでのプロセスを実践的に学修します。



イメージ写真

実習時期	8～9月(約1週間)
滞在形態	学生寮またはホテル
研修言語	日本語および英語(必要に応じて現地語)
派遣国・地域	スウェーデン、ベトナム、韓国、中国
募集時期	12～1月
募集人数	各派遣地につき約15名
申請資格	申請時に2～6セメスター生である者
単位数	2単位
費用	6～8万円(渡航費を除く)



須藤 智徳 教授

アジア太平洋学部 プログラム担当
 (担当地域: スウェーデン ストックホルム)

本や新聞、ネット情報、友人の話など、情報源はいろいろありますが、必ずしもそれらが正しいとは限りません。単なる観光ではそこで暮らす人々の本当の姿はわかりません。このプログラムでは自分で現地調査したい等の声に応え、事前に調査研究法を学び、自分独自の疑問に対する調査研究計画を立て、実際に現地調査を行います。様々な疑問に自分なりの「本当の答え」を見つきたい方のためのプログラムです。



ジュネーブの国連会議場を訪問

国際機関の役割と活動

実習地: スイス、フランス

須藤 智徳 教授

アジア太平洋学部 プログラム担当

「世界の紛争や貧困を解決したい! でも国際機関で働くなんて自分には絶対無理…」そんなこと考えたことはありませんか?

まずは実際に国際機関に行って、直接国際機関職員の話聞いてみましょう! 国際機関の機能や役割は何か? 職員には何が求められ、どんな仕事をしているのか? 大学のうちに学んでおくべきことは何か? このプログラムでは、将来国際機関等で活躍したいと考える学生たちに、国連等の国際機関を訪問し、実際に国際機関職員からの話を聞く機会を提供します。このプログラムを通じ、国際機関を身近に感じ、将来の就業先としての国際機関を現実として考えられるようになります。



現地社会起業家とのワークショップ

SOLVE (Social Innovation and Entrepreneurship)

実習地: フィリピン

ALCANTARA Lailani L. 准教授

国際経営学部 プログラム担当

SOLVEは、社会革新や社会的起業を通して、ビジネスコンセプトがどのように実践されているかを身をもって学ぶ、現地実践型プログラムです。実習地であるフィリピンは、ASEAN諸国の中でも屈指の経済成長率を誇っており、人口増加も著しい東南アジア諸国の中で注目されている国の一つです。プログラム中は、現地の社会起業家養成機関が提供するプログラムへ参加し、フィリピンの社会起業家たちや現地で支援を受けているコミュニティの人々と交流を行うことで、どのようにビジネスを通して変革を起こし、社会に貢献しているかを身をもって学ぶことができます。さらに、参加者はグループに分かれ、貧困、雇用問題、飢餓、食料や、教育などの幅広い社会問題についてビジネスの観点から解決策を探ります。



銭 学鵬 准教授

アジア太平洋学部 (担当地域: 中国 上海)

上海は2,400万人の人口を持つ世界都市、中国の商業・金融の中心地で、中国の経済発展や歴史文化等の調査地として最適な場所であり、日系企業も集まっています。APUの卒業生も上海都市圏に多数就職しており、製造業や商社、金融機関等で活躍しています。本プログラムでは、事前授業で自分で作成した調査計画の下、卒業生とのネットワークを生かして、持続可能な開発、経済、歴史、観光、文化と言語等について現地調査を行います。さらに、華東師範大学、上海交通大学、同済大学、上海大学等を訪問し、現地大学教授から指導を受け、現地大学生と交流することもできます。



轟 博志 教授

アジア太平洋学部 (担当地域: 韓国 ソウル)

韓国は昔から、「近くて遠い国」と言われます。多分、世界で一番日本人に近いのが、韓国人でしょう。白米のご飯を食べ、みそ汁を飲み、お箸を使う人々。あまりにも似ているからこそ、ちょっとした違いが目につくことも多いです。例えば田舎に行くと、今でも親切で情にあふれた人々に接することができます。頼まなくても、車に乗せてくれ、ご飯を食べさせてくれ、泊めてくれることもある。日本の古きよき人々との触れ合いが、今でも体験できます。「似ているけど違う」。パラレルワールドみたいなところが、韓国の魅力の一つです。そんな国で皆さんと韓国について調査できることを楽しみにしています。



田原 洋樹 教授

アジア太平洋学部 (担当地域: ベトナム ホーチミン)

ベトナム社会・経済の発展、日越関係の進展によって、ベトナムは身近な国になりました。おいしいベトナム料理やかわいい雑貨は多くの観光客を魅了しています。遊びに行っても十分に楽しいベトナムですが、このプログラムでは、自分の研究テーマを選んで事前に学修し、自分の体をベトナムに運び、調査研究法をじっくり身に付けます。ベトナム側の協定大学の先生や私の助言を受けて、成長著しい商都・ホーチミンシティで、自分で考えたテーマについて研究を進めます。こんな旅は学生時代にしかできません。私自身が学生時代に住んだこの街で、皆さんと一緒に学ぶことを今から楽しみにしています。

在学中に海外大学に2年間留学し、APUと留学先の2つの学位を取得

ダブルディグリー・プログラム

Off-campus Study Programで最長の留学期間を誇るこのプログラムでは、2つの大学に約2年間ずつ正規在籍し、APUと派遣先大学がそれぞれ展開する世界基準の教育カリキュラムで学び、異なる国の2つの学位を取得します。長期間の留学経験が卒業後の高い評価に繋がるだけでなく、異なる教育システムで学ぶことで世界に通用する多角的視野と教養、思考力を身に付けることができます。海外大学で正規留学をする際に大きな課題となる就職活動も、4回生時にAPUで学ぶ本プログラムであれば、不利なく進めることができます。

※追加学費不要。※2019年度はアジア太平洋学部のみを対象に実施



St. Edward's University (SEU) / アメリカ

テキサス州オースティン市にあり、リベラルアーツ教育で高い評価を受けている大学。参加者はSEUの行動および社会学部に所属し学修します。

学位	APU - 学士 (アジア太平洋学) SEU - Bachelor of Arts	申請資格	アジア太平洋学部在籍、1回生の通算 GPA が 3.00 以上、 TOEFL® iBT71 (TOEFL® ITP525、TOEIC® 700、 IELTS™ 5.5、英検準1級) 以上
募集人数	5名	派遣時の言語資格	TOEFL® iBT79 (TOEFL® ITP550、IELTS™ 6.0) 以上
募集時期	2~3月頃を予定 春入学者は入学前に出願する必要があります。		

春入学者	1回生		2回生		3回生		4回生	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	基礎・言語@APU		基礎・専門@SEU				専門@APU	

秋入学者	1回生		2回生		3回生		4回生	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	基礎・言語@APU		基礎・専門@SEU				専門@APU	

Salzburg University of Applied Sciences (SUAS) / オーストリア

ザルツブルク市に立地するSUASでビジネス・社会学部 (イノベーションマネジメントツーリズム学科/観光学専門) に所属し学修します。

学位	APU - 学士 (アジア太平洋学) SUAS - Bachelor of Arts in Business	申請資格	アジア太平洋学部在籍、1回生の通算 GPA が 2.80 以上、 TOEFL® iBT71 (TOEFL® ITP525、TOEIC® 700、 IELTS™ 5.5、英検準1級) 以上
募集人数	3名	派遣時の言語資格	TOEFL® iBT75 (TOEFL® ITP537、IELTS™ 6.0) 以上
出願時期	5~6月頃を予定		

春入学者	1回生		2回生		3回生		4回生	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	基礎・言語・専門@APU		基礎・専門@SUAS				専門@APU	

※SUASは、春入学者のみが対象です。

Kyung Hee University (KHU) / 韓国

タイムズハイヤーエデュケーションアジアランキング2018で40位に入るなど、目覚ましい発展を遂げている大学。授業は英語で実施され、国際的な環境であるスウォンキャンパスで、多様な視点から国際関係を学びます。

学位	APU - 学士 (アジア太平洋学) KHU - Bachelor of International Studies	申請資格	アジア太平洋学部在籍、1回生の通算 GPA が 2.80 以上、 TOEFL® iBT71 (TOEFL® PBT530、TOEFL® ITP530、IELTS™ 5.5) 以上
募集人数	2名		
出願時期	5~6月頃を予定		

春入学者	1回生		2回生		3回生		4回生	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	基礎・言語・専門@APU		基礎・専門@KHU				専門@APU	

*TOEIC® L&R TESTはTOEIC® LISTENING AND READING TESTの短縮形です。*TOEIC® およびTOEFL® はEducational Testing Service (ETS)の登録商標です。

※KHUは、春入学者のみが対象です。

ダブルディグリー・プログラム学生体験談



今給黎 るな (アジア太平洋学部)
2017年度~ St. Edward's University

道を切り開くチャンスを与えてくれた二つの母校

2年という時間は私を深く厚みのある人間へと成長させてくれたように思います。学びは勿論、日々の体験を通して自分と向き合う時間が贅沢に取れることはこのプログラムの大きな魅力です。SEUにはヨーロッパや中南米、アフリカからの学生も多くいるため、彼らとのディスカッションや日常会話は様々なトピックにおいて多様に富んだ幅広い視野を与えてくれました。一つの物事を様々な側面から見て考察を深められるようになったことは私自身の可能性を大きく広げてくれました。また、初めての英語圏での生活の中、カリキュラムをこなせるか不安はありましたが、APUとSEU双方からの持続的なサポートで学業面と生活面共に問題なく過ごすことができました。



鈴木 響子 (アジア太平洋学部)
2018年度~ Salzburg University of Applied Sciences

刺激的&実践的な学びと多くの挑戦をサポートしてくれる環境

APUでの生活はとても充実していましたが、自分にとっては心地の良い居場所でした。SUASでは学生の出身国が多様だけでなく、社会人学生も多く、様々な経歴を持つ学生が少数クラスで議論することが求められる等、APUとも違った学生生活を送ることができます。英語力もはるかに上がり、自信に繋がりました。常に実践的な学びができ、その多くが将来のビジネスにも役に立つのだと実感しています。両大学の支援が手厚く、自分次第で多くのことに挑戦できます。2年間と聞いて身を構えてしまうかもしれませんが、自分の意思が強ければ4年間の限られた時間を有効に使えるプログラムだと思います。



松永 さとり (アジア太平洋学部)
2018年度~ Kyung Hee University

積極的な行動でチャレンジ精神を伸ばした2年間

ダブルディグリー・プログラムではどれだけ積極的に行動できるかが重要だと思います。留学してすぐは環境の変化に戸惑うことも多く、受け身の留学生活を送っていました。しかしそれでは2年があっという間に過ぎてしまうと考え、進取果敢に物事に取り組もうと態度を改めました。そのようにすることで、様々なイベントに参加したり、韓国人の学生と一緒にインターンシップをしたりするなど、自分に不足していたチャレンジ精神を伸ばすことができました。

立命館大学に交換留学生として在籍し授業を履修

国内交換留学

国内交換留学とは、立命館大学(京都市・滋賀県草津市・大阪府茨木市)とAPU双方の大学で、学生が半年もしくは1年間、交換留学生として在籍し、それぞれの大学の授業を履修することができる制度です。立命館大学で修得した単位は、交換留学修了後にAPUで単位認定を行なうことができます。交換留学協定に基づき、留学中はAPUへの学費を納入することにより、立命館大学での学費が免除されます。また、半年/1年の交換留学の他に、立命館大学の夏期休暇期間中に科目を履修する短期間のプログラムもあります。こちらも交換留学と同じように、プログラム修了後に単位認定を行なうことができます。



プログラムの目的、特徴	国内協定校で専門知識を深める
申請資格	・申請時に3~6セメスター生であること ・申請時の修得単位数がセメスター×14単位以上 ・通算 GPA が 2.50 以上 ・十分な日本語力を有すること (「日本語上級」修了程度)
実習期間	半年もしくは1年間
募集時期	〈秋実施〉4月 〈春実施〉10月
単位認定	単位認定願に基づき教育学部・各学部が認定を行う
費用目安	なし(住居費、生活費等は別途必要)

海外交換留学

APUの協定校 49カ国・地域の148大学へ留学するプログラム

(2019年2月3日時点)



半年～1年間の海外交換留学を経験することで視野が一回り大きく広がります。

現地で新たに得た気付きはAPUで得られる経験を更に豊かなものにし、将来のキャリア形成のための大きな力となります。

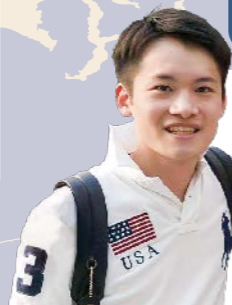
1年間の交換留学は、一生の宝物になるような私の人生を変える経験の一つとなりました。この留学を通して、世界のどこにいても素晴らしい人々に出会えることがわかりました。そして、自分のコンフォートゾーンから抜け出して自分自身の成長を感じることができました。この先、私の将来に何が待ち受けているのかとても楽しみです。



留学先 フランス
Neoma Business School
PERMPETCH Rachiya (国際経営学部)
 参加年度：2017年度 国籍：タイ



アジアトップのビジネススクールで交換留学をしました。サマープログラムの期間中は世界中のトップ大学から集う学生と、残りの期間は正規学生と生活しました。幼少期にも約4年間の海外滞在を経験しましたが、特に世界中の精鋭と過ごしたこの期間は人生の分岐点になったようにも思えます。皆さんの心の中に「留学をしたい」という思いが少しでもあるならば、是非挑戦し、未知の世界観と新しい自分に出会ってください！



留学先 香港
The Hong Kong University of Science and Technology
片山 賢治 (国際経営学部)
 参加年度：2017年度 国籍：日本



韓国への留学経験は私自身を大きく変えました。留学前は、韓国についてよく知らず、誤解をしていたこともあり。派遣先大学での1学期間、素晴らしい教授や友人・先輩に出会い、彼らのサポートを受けて韓国について更に知ることができました。将来の進路がまだ決まっていなかったのですが、留学して3カ月が経った頃、この国と人々についてもっと知りたいと思い、韓国で大学院に進学しよう決めました。交換留学に行って現地の文化を深く学ぶことをお勧めします。



留学先 韓国
Hanyang University
LIU Siqi (アジア太平洋学部)
 参加年度：2018年度 国籍：中国



留学をしたことで自分の多様な可能性に気づき、今の私を作り上げたのはこの経験があったからです。自分自身を不慣れた環境に置くことで、世界には自分が主体的に動かなければ見逃してしまうような沢山の機会があることがわかりました。留学をするという決断は、私の人生の中で最高の決断となりました。



留学先 アメリカ
San Diego State University
KINANTI Dipamara Karno (国際経営学部)
 参加年度：2017年度 国籍：インドネシア



国内に日本人が数えるほどしかいないという環境に身を投じ、自らチャンスを切り開いていくよう行動しました。その結果、大きなイベントで日本の文化について発表したり、普段では会うことのできないような方々と交流する機会に多く恵まれました。交換留学先での経験は自分自身の大きな成長だけでなく、将来のキャリア形成にも新たな知見を与えてくれました。



留学先 ルーマニア
Romanian American University
坂倉 圭 (国際経営学部)
 参加年度：2017年度 国籍：日本



タイで2番目に古い歴史ある国立大学の政治学部に入り、東南アジアと日本における協力関係の重要性が日々高まっていることを肌で感じました。また、キャンパス内で現地学生を対象に「海外メディアにつくられるタイ社会におけるLGBT受け入れに対する寛容的な見たと実態の違い」について質的調査を実施し、研究の専門性も深めることができました。言語や文化が異なる環境に10カ月間身を置き、自らの価値観を広げられたことは貴重な経験でした。



留学先 タイ
Thammasat University
中村 純 (アジア太平洋学部)
 参加年度：2017年度 国籍：日本



インドネシアで多くの人と出会い、様々な考え方を共有し、理解しようとする機会を得ました。APUに入学してからずっと訪れたかった国に実際訪れることで、APUで得たイメージとはまた違うものを見ることもできました。日本語教師としてインターンシップを同時に行うこともでき、母国である日本に対する見方も大きく変わった貴重な1年間でした。



留学先 インドネシア
BINUS University
松本 董 (アジア太平洋学部)
 参加年度：2018年度 国籍：日本



交換留学に参加して私が達成したことは、環境問題の対処方法についての理論的な知識を学んだことです。オーストラリアは、世界の中で最も環境保護の法律が整備されている国です。他国では学べないような法律や具体的な事例について学ぶことができ、私にとってとても素晴らしい機会となりました。



留学先 オーストラリア
Charles Stuart University
HE Bin (アジア太平洋学部)
 参加年度：2018年度 国籍：中国



EUROPE

ASIA

NORTH AMERICA

SOUTH AMERICA

OCEANIA

AFRICA

APUの海外協定校に留学し、専門分野に応じた正規科目を受講

海外交換留学

海外交換留学はAPUと学生交換協定を締結している大学に半年または1年間留学する制度です。派遣先大学では、主に各自の専門分野に応じた正規科目を履修します。留学中はAPUに学費を納入することにより、派遣先大学へ学費を納入する必要はありません。

出願は留学開始の1年前です。英語圏以外の協定校でも、英語での正規科目の履修が可能です。

プログラムの目的、特徴	海外協定校で専門知識を深める
申請条件	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に2～5セメスター生であること 当該GPA2.00以上 (ただし通算GPAは派遣先大学により異なる) 派遣先大学が求める英語力を有すること 派遣先大学のある国の出身でないこと
実習期間	半年～1年間
募集時期	〈春実施〉4月初旬～5月中旬 〈秋実施〉10月初旬～11月中旬
実習地(国・地域)	北南米、ヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカ (募集対象となる大学は、交換留学協定によって随時決定)
単位認定	単位認定願に基づき教学部・各学部が認定を行う
費用目安	なし(渡航費、住居費、生活費、海外旅行保険等は別途必要)



申請から留学までのタイムライン

	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
オプション1		申請・選考	内定者ガイダンス(5回程度)	留学(半年)	留学(1年)			
オプション2			申請・選考	内定者ガイダンス(5回程度)	留学(半年)	留学(1年)		
オプション3				申請・選考	内定者ガイダンス(5回程度)	留学(半年)	留学(1年)	
オプション4					申請・選考	内定者ガイダンス(5回程度)	留学(半年)	

最終セメスター(第8セメスター)での留学はできません。

学び合うから続けられる、続けるから夢に近づく

BASE 交換留学準備プログラム

BASEは海外交換留学を目指す1年生の日本語基準学生を対象とし、8カ月間を通して交換留学合格を掴むために、英語運用能力、自律的学習習慣、申請に必要な知識・能力の修得を目指す正課外の留学準備コースです。

実施時期	5～12月末(8カ月間)
プログラム内容	<ul style="list-style-type: none"> 英語講座 ワークショップ(春、秋セメスター) 学外、学内研修(夏期休暇中)
募集時期	4月
募集人数	約20名
申請資格	<ul style="list-style-type: none"> 1、2セメスターの1年生(日本語基準学生優先) 2年次または3年次での交換留学を目標とする高い学修意欲を持つ者 ※プログラム内容は英語初級レベルを想定しています。
単位数	正課外のプログラムであるため、単位の付与はありません。
費用	約20万円



東 夏妃 (アジア太平洋学部)

2017年度参加後、交換留学(米国)に合格

私は入学前の留学のリベンジを果たすために、APU入学後に交換留学を目指すことにしました。英語力に不安があり、交換留学を目指すに当たって申請を確実にを行うためにもBASEに入ることに決め、英語の学修だけでなく、自分の夢を知るための自己分析、そしてそれを申請書に言語化していくための方法を知ることができました。BASEは、交換留学に行きたいという強い思いだけでなく、根気や忍耐力を持った人にお勧めのプログラムです。

交換留学学生体験談



一步外に出て学ぶこと

秋山 祐香 (国際経営学部)

2017年度 University of Hertfordshireへ留学

留学を決意した二つの理由

イギリスの大学への留学を決断した理由は、大きく二つあります。一つ目はAPUの多文化環境下で勉強してきた専門分野である国際ビジネスに関して、新たな視点から深く学びたいと思ったからです。また、二つ目は異文化理解に関して、慣れ親しんだ友達や家族もあらず、文化環境が大きく異なる場でゼロから新たな挑戦がしたいと思ったからです。

イギリスの派遣先大学では、ディスカッションやエッセイの提出を求められる授業が多く開講され、学んだ知識や情報を鵜呑みにするのではなく、自分の中できちんと理解し考え自分の意見へと落とし込んでいくというプロセスを日々繰り返す過程で、現地学生との考え方の相違点を学ぶこ

とができました。また、在籍する学生の層もAPUとは一味異なりヨーロッパ各地から来る学生に加えアフリカや中東から来た学生も多く、授業やアクティビティ、寮生活を通じて、意見のぶつかり合いや困難を感じる場面もありましたが、それらの問題を解決していく過程を経て今まで持つことのなかった新たな視点を持ち生活を送ることができました。

勇気を持ってAPUの環境から一步外に出て、違ったバックグラウンドを持つ学生達と学びを共有することで、今までのAPUでの学びや自分自身の成長を客観的に見ることができました。そして現在私の知っている世界はまだ狭いのだと強く感じています。1年間の交換留学での経験から、様々なバックグラウンドを持つ人達が集まる環境に自分の身を置くことの重要性を学び、大学卒業後も継続して多文化環境に身を置いて働いていこうという決断をすることができています。

安心して有意義に過ごせた留学生活

私は6セメスターから交換留学をする予定だったので、交換留学を決断する前は単位や就活など様々な不安がありました。ですが、交換留学生を対象とした学修計画や進路に関するサポートが出発前から帰国後まで豊富にあったおかげで、勉学・インターンシップ・旅行・就活などに安心して挑戦することができました。

交換留学の不安について相談できる先輩学生

SEA Student Exchange Advisor

高い英語力だけでなく、しっかりとした学修計画を立てる必要がある交換留学。APUでは交換留学を目指す学生をサポートするため、SEA(学生留学アドバイザー)が活動しています。SEAは交換留学を経験した先輩学生から成る組織で、留学実現のための相談や目標達成に向けた学修計画の立て方、留学先での生活や留学後の進路など、実体験に基づいた手厚いサポートを行っています。アカデミック・オフィス内の専用ブースで、様々な不安や悩みに応えます。



海外交換留学派遣先大学一覧

申請資格は変更になる可能性があります。
各セメスター毎に公開される最新の協定校一覧をご確認ください。

Region	Country	University	APM	APS	Departure Semester		Application Criteria				Accreditations*2				
					Spring	Fall	Cumulative GPA*1	IELTS	TOEFL® IBT	TOEFL® ITP	AACSB	EQUIS	EPAS		
Africa	Botswana	University of Botswana	○	○		—	○	2.7	6.0	76	540	—	—	—	
	Egypt	The American University in Cairo	○	○		—	○	3.0	6.5	83	-	—	—	—	
	Kenya	United States International University-Africa	○	○		—	○	3.0	7.0	79	550	—	—	—	
	Morocco	Universite Internationale de Rabat	○	○		—	○	2.8	5.5	87	543	—	—	—	
Asia	Azerbaijan	ADA University	○	○		—	○	2.0	6.0	60	500	—	—	—	
	Brunei	Universiti Brunei Darussalam	○	○		—	○	2.5	6.0	79	-	—	—	—	
	China	Beijing Normal University-Hong Kong Baptist University United International College		○	○		○	○	2.5	6.0	79	550	—	—	—
		Institute for Tourism Studies, Macao		○	○		—	○	2.5	6.0	77	-	—	—	—
		University of Macau, Macao SAR, The People's Republic of China		○	○		—	○	2.0	6.0	79	550	—	—	—
	China (Hong Kong)	City University of Hong Kong		○	—		—	○	2.5	6.5	80	-	○	○	—
		Hong Kong Shue Yan University		○	○		—	○	2.5	6.0	60	549	—	—	—
		The Chinese University of Hong Kong		○	○		—	○	3.0	6.0	71	530	○	—	—
		The Hong Kong Polytechnic University		—	○		—	○	2.8	6.0	80	550	○	○	—
		The Hong Kong University of Science and Technology		○	—		—	○	3.0	6.0	79	-	○	○	—
		The University of Hong Kong		○	○		—	○	3.0	6.5	93	-	○	○	—
	Indonesia	BINUS University		○	○		○	○	2.7	6.0	79	550	—	—	○
		Gadjah Mada University		○	○		—	○	3.0	5.5	-	-	○	—	—
		President University		○	○		○	○	3.0	5.5	61	500	—	—	—
		Universitas Indonesia		○	○		—	○	3.0	5.0	64	510	—	—	—
		Universitas Katolik Parahyangan		○	○		—	○	3.0	6.0	79	550	—	—	—
	Korea	Dongseo University		○	○		○	○	2.5	5.0	61	500	—	—	—
		Ewha Womans University		○	○		○	○	2.5	5.5	61	500	○	—	—
		Hanyang University		○	○		○	○	2.4	5.5	72	543	○	—	—
		Kookmin University		○	—		○	○	3.0	5.5	61	500	—	—	—
		Korea University		○	○		○	○	2.5	6.0	71	530	○	○	—
		Kyung Hee University		○	○		○	○	3.0	6.5	82	-	—	—	—
		Pusan National University		○	○		○	○	2.0	5.5	61	500	—	—	—
		Sogang University		○	○		○	○	2.0	6.5	79	550	○	—	—
		Sookmyung Women's University		○	○		○	○	2.8	5.0	79	550	—	—	—
		University of Ulsan		○	○		○	—	2.0	5.5	61	500	—	—	—
Kyrgyzstan	American University of Central Asia		○	○		—	○	2.8	5.0	54	500	—	—	—	
	Taylor's University		○	○		○	○	2.5	6.0	61	-	—	—	—	
Malaysia	The University of Malaya		○	○		○	○	3.0	6.0	79	-	○	—	—	
	Universiti Sains Malaysia		○	○		○	○	2.0	5.0	80	550	—	—	—	
Singapore	Singapore Management University		○	○		—	○	2.0	6.5	79	550	○	○	—	
Taiwan	Feng Chia University		○	—		○	○	2.0	5.5	70	520	○	—	—	

*TOEFL®は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

*1 Cumulative GPA (通算 GPA) とは、入学してから申請時までの全ての成績を元に計算した GPA です。

*2 Accreditations とは経営学の学位を授与する教育機関 (大学等) が、求められる教育研究機能を国際的な水準で満たしていることを認証する制度です。その中でも AACSB (The Association to Advance Collegiate Schools of Business) は、マネジメント教育を推進する世界で最も権威あるビジネススクール認証機関の一つです。2016年8月、立命館アジア太平洋大学 (APU) の国際経営学部 (APM) と経営管理研究科 (GSM) は、AACSB International より、世界でも最高水準の教育を提供する教育機関として認証を取得しました。他にも EQUIS や EPAS などの認証があります。

海外交換留学派遣先大学一覧

申請資格は変更になる可能性があります。
各セメスター毎に公開される最新の協定校一覧をご確認ください。

Region	Country	University	APM	APS	Departure Semester		Application Criteria				Accreditations*2			
					Spring	Fall	Cumulative GPA*1	IELTS	TOEFL® IBT	TOEFL® ITP	AACSB	EQUIS	EPAS	
Asia	Taiwan	National Chengchi University	○	○		○	○	2.5	6.0	79	-	○	○	—
		National Taiwan Normal University	○	○		○	○	3.0	6.5	80	550	—	—	—
		Tamkang University	○	○		○	○	2.3	5.0	61	500	—	—	—
		Tunghai University	○	○		○	○	2.5	5.5	61	-	○	—	—
		Yuan Ze University	○	—		—	○	2.0	5.0	64	500	○	—	—
	Thailand	Mahidol University International College	○	○		—	○	2.9	6.0	79	-	—	—	—
		Thammasat University	○	○		—	○	2.5	5.5	61	-	○	○	—
	The Philippines	Ateneo de Manila University	○	○		—	○	2.8	6.0	79	525	—	—	—
		De La Salle University	○	○		○	○	3.0	6.0	61	-	—	—	—
University of the Philippines		○	○		—	○	2.8	6.0	61	-	—	—	—	
Europe	Austria	Management Center Innsbruck	○	—		○	○	2.0	6.0	85	-	○	—	—
		Salzburg University of Applied Sciences	○	○		○	○	2.0	6.0	87	550	—	—	—
		University of Applied Sciences bfi Vienna	○	○		○	○	2.0	6.0	79	550	—	—	—
		University of Applied Sciences Upper Austria	○	—		○	○	2.0	6.0	90	570	—	—	—
	Belgium	University of Liege	○	—		—	○	2.0	6.0	80	550	—	—	○
		Vesalius College Brussels	○	○		—	○	2.7	6.5	90	-	—	—	—
	Croatia	Zagreb School of Economics and Management	○	○		—	○	2.0	6.0	71	530	○	—	—
	Czech	Metropolitan University Prague	○	○		○	○	2.0	5.5	87	543	—	—	—
	Denmark	AARHUS BSS	○	—		—	○	2.0	6.0	79	550	○	○	—
		The Copenhagen Business School	○	—		—	○	2.0	7.0	91	-	○	○	—
	Finland	Laurea University of Applied Sciences	○	○		—	○	3.0	6.0	79	550	—	—	—
		Tampere University of Applied Sciences (TAMK)	○	○		—	○	2.0	6.0	80	550	—	—	—
		University of Helsinki	—	○		—	○	2.0	6.0	79	-	—	—	—
	France	Ecole de Management de Normandie	○	—		—	○	2.0	5.0	72	500	○	○	○
		Ecole Supérieure des Sciences Commerciales d'Angers - School of Management	○	—		—	○	2.0	6.0	79	530	○	—	○
		ESC AMIENS	○	—		—	○	2.0	6.0	80	550	—	—	—
		Excellia Group	○	○		—	○	2.0	5.0	61	500	—	—	○
		Groupe KEDGE Business School	○	—		—	○	2.0	6.0	79	550	○	○	—
		Institut Supérieur du Commerce Paris	○	○		—	○	2.0	6.5	79	543	—	—	—
		Neoma Business School	○	—		—	○	2.5	6.0	85	-	○	○	—
		Rennes School of Business	○	—		—	○	2.0	6.5	79	-	○	○	○
Germany	European University Viadrina Frankfurt (Oder)	○	○		○	○	2.0	6.0	71	-	—	—	—	
	Heinrich Heine University	○	—		○	○	2.0	6.0	80	550	—	—	—	
	Karlshochschule International University	○	○		○	○	2.0	6.0	80	-	—	—	—	
	Otto-von-Guericke-University Magdeburg	○	○		○	○	2.0	6.0	79	550	—	—	—	
	SRH University Heidelberg	○	—		—	○	2.5	6.5	87	-	—	—	—	
	University of Hohenheim	○	—		○	○	2.0	6.0	79	550	—	—	—	

*TOEFL®はEducational Testing Service (ETS) の登録商標です。

*1 Cumulative GPA (通算 GPA) とは、入学してから申請時までの全ての成績を元に計算した GPA です。

*2 Accreditations とは経営学の学位を授与する教育機関 (大学等) が、求められる教育研究機能を国際的な水準で満たしていることを認証する制度です。その中でも AACSB (The Association to Advance Collegiate Schools of Business) は、マネジメント教育を推進する世界で最も権威あるビジネススクール認証機関の一つです。2016年8月、立命館アジア太平洋大学 (APU) の国際経営学部 (APM) と経営管理研究科 (GSM) は、AACSB International より、世界でも最高水準の教育を提供する教育機関として認証を取得しました。他にも EQUIS や EPAS などの認証があります。

海外交換留学派遣先大学一覧

申請資格は変更になる可能性があります。
各セメスター毎に公開される最新の協定校一覧をご確認ください。

Region	Country	University	APM	APS	Departure Semester		Application Criteria				Accreditations*2			
					Spring	Fall	Cumulative GPA*1	IELTS	TOEFL® IBT	TOEFL® ITP	AACSB	EQUIS	EPAS	
Europe	Germany	Zeppelin University	○	○		—	○	2.5	5.0	85	550	—	—	—
	Greece	The American College of Greece	○	○		—	○	2.5	6.0	76	-	—	—	—
	Hungary	University of Pecs	—	○		—	○	2.0	5.5	95	587	—	—	—
	Iceland	University of Iceland	○	○		—	○	2.0	6.5	79	-	—	—	—
	Italy	Ca' Foscari University of Venice	○	○		—	○	2.0	5.5	60	543	—	—	—
		Universita Cattolica del Sacro Cuore	○	○		—	○	2.8	6.0	79	550	—	—	—
		Universita Commerciale Luigi Bocconi	○	○		—	○	2.0	6.0	79	550	○	○	—
	Lithuania	Vilnius University	○	○		—	○	2.0	6.0	71	530	—	—	—
	Norway	BI Norwegian School of Management	○	○		—	○	2.0	6.0	78	550	○	○	—
		Norwegian University for Science and Technology	○	○		—	○	2.0	6.5	90	-	—	—	—
		University of Agder	○	○		—	○	3.0	6.0	79	550	—	—	—
		University of Bergen	—	○		—	○	2.0	5.5	72	530	—	—	—
	Poland	Kozminski University	○	—		—	—	2.0	6.5	80	550	○	○	—
		Warsaw School of Economics	○	○		○	○	2.0	6.0	79	-	—	—	—
	Portugal	ISCTE - Lisbon University Institute	○	—		—	○	2.5	6.0	79	-	○	—	—
	Republic of Macedonia	International University of Struga	○	○		○	○	2.5	6.5	72	530	—	—	—
	Republic of Turkey	Istanbul Commerce University	○	○		—	○	2.5	6.0	78	550	—	—	—
	Romania	Romanian-American University	○	○		○	○	2.0	5.5	65	550	—	—	—
	Slovak Republic	University of Economics in Bratislava	○	—		—	○	2.5	5.0	57	475	—	—	—
	Spain	IE University	○	○		—	○	2.0	6.5	80	-	○	○	—
		The Universitat Rovira i Virgili	○	○		—	○	2.5	6.0	71	530	—	—	—
		University of Alicante	○	○		—	○	2.0	6.0	71	530	—	—	—
	Sweden	Halmstad University	○	○		—	○	2.0	6.0	80	-	—	—	—
		Linnaeus University	○	○		—	○	2.0	6.0	79	-	—	—	—
		Lund University	○	—		—	○	2.0	6.5	90	577	—	○	—
		Sodertorns Hogskola University College	—	○		—	○	2.0	6.0	79	550	—	—	—
	Switzerland	Zurich University of Applied Sciences	○	—		○	○	2.0	6.5	79	-	○	—	—
	The Netherlands	The Hague University of Applied Sciences	○	○		—	○	2.0	6.0	80	550	—	—	—
Tilburg University		○	○		—	○	2.0	6.0	80	550	○	—	—	
Universiteit Leiden		○	○		—	○	3.2	6.5	90	-	—	—	—	
U.K.	Oxford Brookes University	○	○		—	○	2.8	6.0	-	-	—	—	○	
	The University of Hertfordshire	○	○		—	○	2.0	6.0	-	-	—	—	○	
	University of Kent	○	○		—	○	3.0	6.5	90	-	—	—	—	
	University of Leicester	○	○		—	○	3.0	6.5	90	-	—	—	—	
	Westminster Business School, University of Westminster	○	—		—	○	2.7	6.0	80	-	—	—	—	
Latin America	Argentina	Universidad Argentina de la Empresa	○	—		○	○	2.0	6.0	79	550	—	—	—
		Universidad Nacional del Litoral	○	○		○	○	2.0	5.0	61	500	—	—	—

*TOEFL®は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

*1 Cumulative GPA (通算 GPA) とは、入学してから申請時までの全ての成績を元に計算した GPA です。

*2 Accreditations とは経営学の学位を授与する教育機関 (大学等) が、求められる教育研究機能を国際的な水準で満たしていることを認証する制度です。その中でも AACSB (The Association to Advance Collegiate Schools of Business) は、マネジメント教育を推進する世界で最も権威あるビジネススクール認証機関の一つです。2016年8月、立命館アジア太平洋大学 (APU) の国際経営学部 (APM) と経営管理研究科 (GSM) は、AACSB International より、世界でも最高水準の教育を提供する教育機関として認証を取得しました。他にも EQUIS や EPAS などの認証があります。

海外交換留学派遣先大学一覧

申請資格は変更になる可能性があります。
各セメスター毎に公開される最新の協定校一覧をご確認ください。

Region	Country	University	APM	APS	Departure Semester		Application Criteria				Accreditations*2				
					Spring	Fall	Cumulative GPA*1	IELTS	TOEFL® IBT	TOEFL® ITP	AACSB	EQUIS	EPAS		
Latin America	Ecuador	Universidad Del Pacifico	○	○		○	○	2.0	6.0	71	530	—	—	—	
	Mexico	Instituto Tecnologico Y De Estudios Superiores de Monterrey	○	○		—	○	2.5	5.5	61	-	—	—	—	
		Universidad de Monterrey	○	○		—	○	2.3	6.0	70	550	—	—	—	
	Peru	Universidad del Pacifico	○	○		—	○	2.0	6.0	79	550	○	—	—	
		Universidad San Ignacio de Loyola S.A.	○	○		○	○	2.7	6.0	79	550	—	—	—	
North America	Canada	HEC Montreal	○	○		—	○	2.5	5.5	72	533	○	○	—	
		Saint Mary's University	○	○		—	○	2.8	6.5	80	550	○	—	—	
		Simon Fraser University	○	—		—	○	2.0	6.5	88	-	○	○	—	
		The University of British Columbia	○	○		—	○	3.0	6.5	90	-	○	—	—	
		Universite du Quebec a Montreal	○	—		—	○	2.0	6.0	80	550	—	—	—	
		University of Lethbridge	○	—		—	○	2.0	5.5	70	-	○	—	—	
		University of Ottawa, Telfer School of Management	○	—		—	○	2.0	6.5	86	567	○	○	—	
		University of Waterloo	—	○		—	○	2.8	6.5	90	-	—	—	—	
	York University	○	—		—	○	2.8	7.0	100	600	—	○	—		
	U.S.A.	American University	○	○		—	○	3.0	6.5	80	-	○	—	—	
		Carroll College	○	○		—	○	2.5	6.5	80	550	—	—	—	
		College of Staten Island, City University of New York	○	○		—	○	3.0	6.0	61	-	—	—	—	
		Florida International University	○	○		—	○	3.0	6.5	80	-	○	—	—	
		Georgia Institute of Technology	○	○		—	○	3.0	7.0	95	557	○	—	—	
		Grand Valley State University	○	○		—	○	2.5	6.5	80	-	○	—	—	
		James Madison University	○	○		—	○	2.0	6.5	80	550	○	—	—	
		Minnesota State University Moorhead	○	○		—	○	2.5	5.5	61	500	○	—	—	
		Old Dominion University	○	○		—	○	2.5	6.0	80	550	○	—	—	
		San Diego State University	○	○		—	○	2.5	6.5	80	550	○	—	—	
		St. Edward's University	○	○		—	○	2.5	5.0	61	500	—	—	—	
		The University of Hawaii at Manoa	○	○		—	○	3.0	6.0	68	520	○	—	—	
	U.S.A.	The University of New Mexico	○	○		—	○	3.0	5.5	68	520	○	—	—	
		The University of Oklahoma	○	○		—	○	2.0	6.0	61	-	○	—	—	
		University at Buffalo, The State University of New York	○	○		—	○	2.5	6.5	79	550	○	—	—	
		University of Wyoming	○	○		—	○	2.8	6.0	71	-	○	—	—	
		Australia	Charles Sturt University	○	○		○	—	2.5	6.0	-	-	—	—	—
			James Cook University	○	○		○	—	2.0	6.0	79	-	—	—	—
			La Trobe University	○	○		○	—	2.5	6.0	80	-	—	—	○
			The University of Western Australia	○	○		○	—	2.8	6.5	82	-	○	○	—
	Victoria University		○	○		○	—	2.5	6.0	80	-	—	—	—	
Samoa	The National University of Samoa	○	○		○	—	2.0	6.0	76	540	—	—	—		

*TOEFL®は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

*1 Cumulative GPA (通算 GPA) とは、入学してから申請時までの全ての成績を元に計算した GPA です。

*2 Accreditations とは経営学の学位を授与する教育機関 (大学等) が、求められる教育研究機能を国際的な水準で満たしていることを認証する制度です。その中でも AACSB (The Association to Advance Collegiate Schools of Business) は、マネジメント教育を推進する世界で最も権威あるビジネススクール認証機関の一つです。2016年8月、立命館アジア太平洋大学 (APU) の国際経営学部 (APM) と経営管理研究科 (GSM) は、AACSB International より、世界でも最高水準の教育を提供する教育機関として認証を取得しました。他にも EQUIS や EPAS などの認証があります。

掲載プログラムについて

✓ もっと知りたい!

✓ 申請したい!

という方はこちらをチェック▶▶▶



Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
TEL 0977-78-1101 FAX 0977-78-1102
E-mail academi1@apu.ac.jp
URL <http://www.apu.ac.jp/>

本冊子には2019年度に実施予定のプログラムおよびその内容を掲載しています。2020年度以降の実施を保証するものではありません。また、掲載された情報については変更されることがあります。